

相模原市長 本村賢太郎殿

住民アンケートに寄せられた要求・要望の実現を

2025 年 2 月 3 日 日本共産党相模湖支部

連絡先 鈴木哲夫 090-7243-1196

日ごろの市政運営に心から敬意を表します。合わせて私たち日本共産党相模湖支部活動へのご協力に感謝申し上げます。特に 1 昨年 6 月に文書で「18 項目」と口頭で 2 項目を要請したものに
対し、すでに半分以上が解決・手を施していただき、関係する住民の方から大変喜ばれています。
重ねてお礼を申し上げます、

この度、日本共産党相模湖支部は 1 昨年に続き昨年も住民のみなさんにアンケート活動を行い、
多数の要求、要望が寄せられました。この中には貴機関でも承知されているものもありますが妥
当と思われるものを下記に列挙しました。要求は様々ですが市民の命と安全を守るうえでは欠か
せないものと考えます。貴殿(市)に置かれ、ご検討いただき、その実現に向けて必要な、検討、対
策を講ぜられるよう文書を持って要望するものです。

尚 回答は文書で 25 年 6 月末を目途にお願い致します

道路などに関するもの

① 寸沢嵐 981 付近(旧内郷幼稚園前通り)

アスファルト道路(約 30 メートル)が流し打ち状態で片面側面が
固定されていない状態で長年使用しているために溝が生じていま
す。このまま放置、使用していると比較的交通量も多い生活道路だ
けに早晚、崩れ落ち、安全面と共に通行が不能になりかねない状態
です。事故など発生しないうちに適切な対応が求められています。



② 寸沢嵐 966 の市道(小山源一宅などへの進入路)の改良を

未舗装道路のため、雨などにより土がえぐられ、その
土が流出したことによってできたコンクリート擁壁と
の間に溝ができ、そこにタイヤがはまりタイヤのフレ
ームに傷がつく(利用者の小山さん)などの被害が生ま
れています。また流出した土砂が国道 412 にたまり、
交通の妨げになる時もありました。これまで小山氏も



「市に改善を求めているが舗装するところまでいかない」と発言されていますが早期の舗装
などの対応が求められています

③ 市道関口・道志線 寸沢嵐 1135 付近=増原橋から見て左、側溝に早期の蓋を

津久井土木事務所・貴班も承知され注意を喚起するカラーコンボが設置されていますが(この
コンボも劣化しているものもある)この状態が数年続いており「住民
からいつ直すのか計画をはっきりさせろ」という声が寄せられまし
た。最近では 土砂でうまり、その上に枯葉がつもり、側溝が完全
に見えなくなっており、さらに大雨時などの水が道路にあふれ 冬季
などはその水で凍結することもあり、危険な事態も発生しています。至
急、側溝への蓋の設置を求められます。



④ 寸沢嵐 2791-10 井上宅前から下り、国道 412 号(正覚橋付近)に降りる道路の横断側溝の点検を

道路は上から 150 メートルほどの距離があり側溝がなく数か所に横断側溝が設置されていますが土砂に埋まり機能していないことから大雨の日などは道路が「川」となり、その雨水が伊達康之宅(若柳 1377-6)に流れ込み、さらにすぐ横では昨年 8 月土砂崩れが発生(津久井土木事務所・貴班も応急処置をしています))の、一因ともいわれています。当面、日常的に横断側溝の点検と共にできるだけ早く道路の舗装・側溝の整備が求められています。



⑤ 市道関口・道志線から入る寸沢嵐 2782(近くに稲荷神社あり)の生活道路の舗装を早急に。

5、6 年前頃から地元自治会をはじめ党相模湖支部としても舗装の要望を出している現場です。市は事業計画を持ち、測量や用地買収が行われていると聞きますが要望してから長いだけに住民のみなさんから「はっきりとした計画を文書で示して欲しい、今年中(25 年度中)の完成を」と強く求めています。確かに現場は車で通行するには「怖い」と感じるほど凹凸があり、「いまどきこんな生活道路が残されているのはおかしい」という声も出ています。最優先での対応を求めます。



⑥ 国道 412 から石老山橋を渡ってすぐ左に折れる市道の凹凸の解消を

現場は国道から市道関口・道志線に入ってすぐ左に入った市道は短い距離ですが通学路でもあり、地元住民の方は取り急ぎの改修を求めています。(写真なし)

⑦ 寸沢嵐 571 国道沿い障がい者訓練施設ファンファン横から下る道路の雨水対策を。

昨年 8 月末の台風による大雨で寸沢嵐 193 和田宅方向に降りる道路が大雨で国道から流れる雨水が「川」となり、その雨水が和田宅敷地に流れ込み、金網の土台・ごみ箱周辺の土砂を流出させています。国道からの流水対策が求められています。



⑧ 国道 412 号 寸沢嵐内郷派出所横の段差による騒音対策を

前回要望して手が施されましたが完全に解消されず、依然として「段差」による振動が発生しています。再修繕が要望されています。(写真なし)

⑨ 相模湖病院の先 寸沢嵐 2887-57 付近から 2886-4(三浦塗装工業)までの道路の舗装を

進入路の舗装が劣化し凹凸がひどい状態であり 大雨の場合は側溝がないために「川」となり、歩行が困難な状態となります。早急な対応が求められています。



⑩ 同上付近 寸沢嵐 2887-57 道路と川の間に柵の設置を

(写真 右)すぐ横が川の淵になっているが(川との段差 1 メートル以上)その川と道路との間、幅約 2 メートルに柵

がなく(現在は仮設的にパイプを置いている)危険な状況であります。さらにその近くに金網の柵が設けられていますがこれも劣化しその 1 部が倒れ機能していない状況です。特にパイプで仮策になっている場所については早急の対応が求められています。

⑪ 桂北小学校横の甲州街道から相模湖公園に至る市道の歩道幅(交流センターまで)の拡幅などの対策を。承知の通り現場は車の往来は勿論、登山客も含めて人の通行も多い市道ですが

甲州街道から相模湖交流センターまでの間、歩道が(側溝蓋の上)60センチほどの小幅しかなく人のすれちがう際は片方が車道に降りて交差しなければならぬ状態です。その際、歩行者が車を確認しないまま車道にひょいと降りると後方からくる車との接触が危惧されています。この道路面には障がい者施設もある事から以前にも関係者から「歩道の拡幅などの対策」を求める声が出された経過もありました。先日も歩行者が後ろからくる車を確認しないまま車道に降りたため佳北小方向から来た車が急ブレーキを踏んで停車したために「事故」は免れました(目撃者談)日常的に類似の事が時々発生しています。場所的になかなか難しい問題ですが「何とかしてほしい」との強い声が寄せられています。ご検討ください。



⑫市道関口・道志線から寸沢嵐 1916(宮崎英郎)前からみな畑に入る進入路に待避所の設置と倒木・落枝の対策を

●道路は入り口から 100 メートル(3 目のカーブミラー付近)まで普通車が通れる程度の道幅で車のすれ違いは困難です。対面した場合はどちらかがバックして道を開ける以外にすれ違いは出来ません。住民の方は「最近住民の車と共に宅配車の往来も多くなり「すれちがう」ケースも多くなっているが地形上などからバックすることはなかなか容易ではない、無理してのすれ違いで「バックミラーを壊した」とかタイヤを踏み外すところだったどの被害や危険もある、特に女性ドライバーのバックは無理。そこで入り口から適当なところに「待避所」の設置か、車が「交互の通行」する信号の設置など検討をしていただきたいとの要望です。(写真なし)

●倒木、落枝対策

同上個所 (宮崎英郎宅前)～みな畑に入ったすぐ右上の枯れ樹木からの枝落が頻繁に発生し、交通の邪魔、ないしは車に傷をつけるなどの被害が起きています。宮崎英郎さんが「土地の持ち主に再三、対策を取るよう要望しているががちが明かない」ことから「行政にお願いする以外ない」との要望がされています。



⑬ 国道 412 号相模湖MORI MORI(旧プレジャーホレスト)横の横断歩道橋の塗装含む整備を

当歩道橋は住民の行き来と共に東海道遊歩道として登山者などが日常的に利用されています。加えて夏の相模湖上祭などには花火を見学するためには少なくない人が滞留し、見物する場となっています。

地元の方は「この歩道橋が設置され、数十年になるが設置後は塗装の塗り替えなど定期的に整備、管理されてきたが相模原市に移行された以降は練り替えなどが行われていないはず、そのため、防護柵をはじめ橋げたなどはサビがひどく、塗装がはがれ、その破片が風にとばされる状況だ、美観もよろしくない、このことを総合事務所に対応してくれと言ったばかりだが早く対応してくれ」と求めています。速やかに構造物の強度の調査やさび付いた防護柵の塗装などの対応を求められています。



⑭ 市道、阿津・若柳線(相模湖林間公園に上る道)に入ってすぐ左側に入る進入路の凹凸の補修を

この道路の行き止まりで主な使用者は3軒と思われるが道路は「大きな穴」など相当傷んでおり、大雨などにより雨水がたまり、歩行、車の通行障害になっており舗装を求める声が寄せられました。



⑮ 寸沢嵐 607 井上宅から松本宅間の砂利道の舗装を

この道路の舗装は共産党支部として 10 数年前に行いました。そのさいの回答は「舗装するためには「4 メーター道路に拡幅し、側溝を入れる必要があり、その拡幅に必要な地主の了解が

取れないために難しい」とのことでした。そのあとも「現状での舗装は可能ではないか」とのお願いをした経過があります。最近では 23 年 1 月頃に自治会から市議会議員を通じて要請しています(自治会の会議で報告もあり)が変わっていません。

現状の中で貴班も「穴が開けば砂利などを補給する」などで対応されていますが間に合わないことも少なくありません。その時に大雨でも降ればたちまち水たまりになり歩行が困難になっています。 今度のアンケートでも改めて「何とか舗装してほしい」とした要望が届きました。いずれにしても住民の日常の生活道路であり、最近では高齢者が増え、中には車いすを使用されている方も散見されますので舗装の実現に向けての対応をお願い致します。

⑩ 市道関口・道志線、寸沢嵐 1850(山口宅)から弁天橋に向かう右側 100 メートルほどに側溝蓋を

自治会も要望していると聞きました。現場は直線コースになっていますが木田宅(1885 旧山口宅)などでは「タイヤを踏み外したり、子供が足を踏み外し転倒する等の「事故」があり、至急 蓋をしてほしい」とする要望です。

⑪ 与瀬 、企業庁正門前から住北中方向に上る会階段に「てすり」の設置を

地元自治会の物置が企業庁の正門前に設置されていることから「上」にお住まいの方が掃除などの際、階段を利用しているが高齢者も多く「手すり」がないと安全に利用できない、また住民が散歩で利用しているが安全のためにも「手すり」の設置がも取られています。」する際にからも要望



倒木 樹木や雑草などの対策

昨年夏、東京都日野市で倒木により、不幸にも命を落とす事故がありました。相模湖でも昨年夏に寸沢嵐の児童公園横で倒木が発生 柵やガードレールを破損する事故が発生しました。山林に囲まれている相模湖地域はその危険性を多くのところで抱えていますとりあえず要望のあった「倒木の危険あり」とした所と雑草などの除去の対応・検討を要請します。

① 津久井湖畔寸沢嵐側・側道の倒木、草刈を。

この側道は住民の散歩や釣り人が利用しているが最近枯れ木が倒れていたり、昨夏では草が伸びすぎ歩行の邪魔になっているので早急の倒木の除去、除草のお願いとともに定期的な点検をお願いしたい(写真なし)

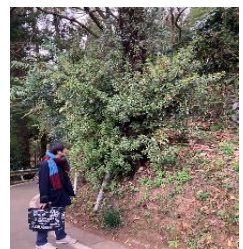
② 国道 412 号内郷交番前の丁字路・内郷小学校側から阿津方面の歩道にかかる樹木の倒木(日神社のうしろ)の危険除去と除草などの清掃を

歩道はがれきや落ち葉がたまり、その上、草が生えて歩道を狭く歩行の障害になっています。特に雨の日などは草が濡れているために歩行が困難となっています。この歩道は寸沢嵐の住民などが診療所や農協、郵便局に向くときに歩いて利用するところであり、高齢者も多いことから早急な倒木の危険除去 掃除、除草が求められています。



③ 土砂崩れ、倒木の回避対策を

市道三井・相模湖線千木良 94-20 和田宅の先の左側は樹木などが生えておらず 山肌が露出し、ときおり石ころや土が転げ落ちています。これが大雨などになれば土砂崩れが発生する可能性は大とされています。この先の沢川が 19 年台風で土砂が崩れ、大掛かりな工事を行ったところのすぐ隣です。



●上記のすぐ手前カーブの倒木危険の回避を(千木良 94-2 和田宅前)カーブで道路の淵の樹木は高さ 10 メートル以上あり、根は露出しているため台風、強風などによって倒木の危険があります。取り急ぎの対応が要求されています。



追記 前回(2023 年 6 月)に要望した項目で
「今後検討する」としたものの進捗状況を教えてください。

本村賢太郎相模原市長殿

旧津久井消防署本部跡地利用についての要望

2025 年 2 月 10 日 日本共産党相模湖支部
連絡先 鈴木哲夫 090-7243-1196

日ごろの消防、救急・急病など市民の命、健康、財産を守るための日夜の活動に心から敬意を表します。合わせて私たち日本共産党相模湖支部活動へのご協力にお礼を申し上げます。

この度、日本共産党相模湖支部は昨年来、住民のみなさんにアンケート活動を行い、多くの要求、要望が寄せられています。その中に旧津久井消防署跡地の利用についての要求がよせられましたのでご検討いただきたいと思います。

要望事項

① 旧消防署跡地に相模湖防災センター(仮称・倉庫的なもの)建設を

昨今、気候変動などの要因で自然災害が頻発しております。19 年の大型台風により当相模湖をはじめ旧津久井地域は大きな被害に見舞われ、少なくない住民が一時的とはいえ避難も余儀なくされました。今後も南海トラフ、首都直下型地震など、これまで経験したことのないような大規模な震災も想定され、しかもいつ起きてもおかしくない時期と想定されています。特に相模湖を初め旧津久井郡は高齢化を迎え、山林の手入れが行き届かなくなり、倒木したものが放置されるなど荒れ果てたところも少なくないだけに被害を大きくしかねません。それだけに災害に備え、山林対策などの強化で減災に努めるとともに実際の震災、災害に備えた対策と共に緊急避難としての食料の備蓄をはじめとした体制、準備が欠かせません。先の能登半島地震でも「珠洲市はストックしていた食料が 1 日程で底、能登町では 1 月 2 日や 3 日、水しか口にできなかった人もいた」と毎日新聞(1/10 付)が報道しています。

現在 相模湖地区には災害に備え、食料などを備蓄している「倉庫」が内郷小、桂北小 千木良小の 3 か所に設置され、各所におおむね、アルハ米が 500 食 ビスケットが 500 食 簡易トイレが和洋で 5 基、その他、毛布 おむつ 生理用品が備蓄されていると聞きました(相模原危機管理室)がこれらの備蓄の量、規模、特に食料などは 2〜3 日程度しか持たない量ではないかと思われます。

昨年、12 月 13 日、政府は能登半島地震を踏まえ避難所の運営方針を改定し、最低限守るべき指標を定めた国際基準を取り入れ、トイレは被害発生時は 50 人に 1 基 そのあと 20 人に 1 基、その男女の比率として 3 分の 2 が女性、入浴施設は 50 人に 1 つ、簡易ダンボールベットは開設時からの設置を促しています。こうした方針も踏まえ旧相模湖地域の災害、震災に備え、備蓄などを抜本的強化をはかるうえで現在の 3 か所の「倉庫」では備蓄などを大規模に増やす事は無理と思います。そこで旧津久井消防署の跡地に大規模災害も想定した「防災センター的な倉庫」を建設し備蓄の増大など抜本的強化をはかることは適切な要望と考えます。尚 傾斜地であり建造物は危険」とする意見もあると聞きましたがその判定も含め検討され、無理となれば別の地に「建設」することも検討して頂きたいと要望します

② 国道 412 に面した部分にバスが停車できるスペースの確保を

現在のバス停は旧消防署玄関東側におかれ、バス停のスペースはなくバスが路上に止まり、そ

こでの乗降りとなっており、そのため、後続車の渋滞が見られます。さらに現場は緩やかなカーブ後に設置されており、見通しはあまりよくありません。この渋滞解消や乗降客の安全のためにこの機会にバスが停車できるスペースを確保していただきたい。

③ 住民用ごみ捨て場の確保を

現在 旧消防署本部側に居住される 6 軒の方は国道を横切って消防訓練所近くのごみステーションを利用していますが国道の交通量が多く、しかも道路がカーブしているため見通しも悪いため「危険度が高い」中での利用となっています。高齢の方も利用しています。すでに地元の民生委員からもこの声が挙げられていると聞きました。この機会にごみ捨て場のスペースを確保して頂きたい。

④ 消防訓練施設の跡地に沼本地域用の集会所(自治会館)の建設を

地域は地形的に津久井湖湖畔に隣接した「下の集落」と旧消防署と並行した「上の集落」に分かれています。

現在の「集会所」はもともと、津久井湖畔整備の時に建設業者が「倉庫」として活用していたものを譲り受けたと言われています。集会所の地盤も傾斜を削った土地だけに災害が発生した時は脆い地盤と言われています。その上、建物も古く建て替えを求める声も寄せられています。何よりも現在の集会所は集まりにくく、特に沼本地区は高齢化率は高く高齢者が気軽に集う場所が求められています。この際 表記の場所に建設、設置する事を検討の上、実現していただきたく要望します。

追記、過日(1/18)地元住民を対象にした解体作業の説明会でのお話によれば旧津久井消防署跡地は更地にした後、売却する方向で検討されていると聞きますがこの際、住民から寄せられた要望は現実的かつ、必要なものと考えます。ぜひご検討ください。尚、要望の内容から地元自治会などの意見なども聴取されるなどの対応もご検討ください。

相模原市教育委員会 殿

日本共産党相模湖支部

連絡先 鈴木哲夫 090-7243-1196

日ごろの児童、子供の教育、成長のための活動に心から敬意を表します。合わせて私たち日本共産党相模湖支部活動へのご協力にお礼を申し上げます。

この度、日本共産党相模湖支部は1 昨年続き昨年も住民のみなさんにアンケート活動を行い、多くの要求、要望が寄せられています。その中で貴委員会に関わるの要求がよせられましたのでご検討いただき実現されることを要望致します。

千木良小学校体育館入口に手すりの設置を